

## 概要報告書

2018 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	九州・沖縄犯罪被害者連絡会(みどりの風)
事業名	第7回 犯罪被害者大会 in 福岡



2018年7月7日に第7回となる犯罪被害者大会を福岡市のホテルサンライン博多駅前で開催しました。残念ながら当日は西日本を襲った豪雨と重なって交通混乱もあり、キャンセルも発生しましたが、約50名の出席を得て予定通り行いました。

被害者を苦しめる様々な要素に「未解決」の問題があります。前半は、4件の未解決事件でどのような現実と直面したか、支援部の医師の司会により各遺族からその実際が語られました。救護処置のないひき逃げの時効の問題、マスコミの報道の在り方や、2次・3次被害の悩み、真相究明のため我慢せざるを得ないことの多さなど、今も当事者を苦しめる理不尽さが切々と訴えられました。後半は、犯罪被害者支援条例についてです。きっかけとなった廣瀬会長の体験談や、九州・沖縄各地での取り組みなどの説明が林弁護士からありました。条例作成の流れが加速し、自治体により支援の厚みが増すことを願いたいと思います。

終わりに、交通犯罪の被害からの回復にリハビリとしても始められた「笙」の合奏を、会員の母子が披露されました。天から降りそそぐと例えられる透き通る音色が会場を包み、美しい旋律に耳を傾けながら、亡くなられた多くの被害者のことを皆で偲びました。

専門職の相談会もあり、各地からの参加者は夜更けまでゆっくりと語り合いました。

注)上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。